

## 【5】専門学校

より専門的なことに特化して学ぶ学校です。修業年限は学校や学科にもよりますが、1～2年と短い学校が多いため、社会に出て働くことを強く意識して受験校を選び、学んでいく必要があります。専門学校・専修学校の中には、学校教育法の基準を満たしておらず、都道府県知事からの認可を受けていない「無認可校」があります。この「無認可校」は、規制がなくよりユニークな教育活動ができますが、修了しても正式な学歴とはならず、通学時の定期券の学生割引なども適用されません。また、日本学生支援機構の奨学金の対象にならない学校です。受験校を選ぶ時にはよく調べ、よく考えてください。

[特性]・社会状況の変化に応じて、学科やコースの新設と廃止を行い、世の中のニーズに合わせた資格や技能の修得を目指す。

- ・即戦力としての社会人を送り出すために設置されている学校であり、試験や入学時から社会人としての心構えを持っている者が入学してくる学校である。
- ・資格や検定の受験指導や実技の修得についての指導は厳しく、指導についていけなくて中途退学する学生も多い。

### (1) 資格

- ① 2年制以上の学科では修了者に「専門士」の称号が付与される。
- ② 2年制以上の学科の卒業生は短大卒と同等に見なされる。(一部大学編入も可)
- ③ ・卒業と同時に取得できる国家資格がなど。(ex:調理師免許)  
・受験資格が得られるもの(ex:看護系、理・美容系)

### (2) 求められる学生像

- ① 将来の目標を持ち、高い意識を持つ学生。  
= 志望理由が明確
- ② 職業と直結しているのもので、責任感が強い学生。  
= 物事をいい加減にしない・出席状況
- ③ 基本的な生活態度(時間を守る、身だしなみができている)がきちんとしている学生。  
= 規範意識・周囲への気配り・協調性
- ④ 職場での即戦力を目指し、知識や技術の習得に励む学生。  
= 柔軟性・謙虚に指導やアドバイスを受ける
- ⑤ 向上心を常に持っている学生。  
= 目標を持って高校での部活動や学習活動に力を入れてきたか

### (3) 入試方法・日程(例) A 専門学校

[AO入試]

- ① 選抜方法・・・書類審査、面接など
- ② 出願期間・・・9月1日以降
- ③ 試験日・・・エントリーシート提出後、随時
- ④ 合格発表・・・9月中旬以降

[推薦入試]

- ① 選抜方法・・・書類審査、小論文、面接など
- ② 出願期間・・・10月1日以降
- ③ 試験日・・・10月中旬～11月上旬

④合格発表・・・試験後7日前後

※推薦入試は学校長の推薦が必要となる。推薦規定に照らし合わせて、学習成績や日頃の生活態度（出席状況、服装など）の観点から総合的に判断される。誰もが推薦してもらえるものではない。

[一般入試]

①選抜方法・・・書類審査、面接、学科試験など

②出願期間・・・11月初旬～

③試験日・・・11月中旬～3月

④合格発表・・・試験後7日前後

#### (4) 専門学校独自の特待生制度

- ・医療・看護系専門学校に多い。
- ・学業成績が優れ、生活態度も良好な生徒に対して特待生制度を採用する学校もある。
- ・試験による特待制度を実施している学校もある。

#### ◆ (例) A 専門学校の試験による特待生制度

認定ランク	内容
A ランク	入学金及び授業料2年間免除
B ランク	入学金及び授業料1年間免除
C ランク	入学金及び授業料1年次半額免除
D ランク	入学金免除
E ランク	入学金の半額免除

※入学するかどうか試験後に決められる。

※受験料は無料。

※試験はマークシート方式。

#### (5) 奨学金制度

主に次の2種類が考えられます。

① 予約奨学金（日本学生支援機構）                      ② 学校独自の奨学金

しかし、近年返還出来ずに困る現象が起きています。高校在学中に保護者と経済面について話し合う必要があると思います。

#### (6) 志望校に向けて

##### 学校選び・比較選択のポイント

① 学べる内容・環境

- ・学校教育法の規定に沿った学校であるか。（許認可校であるか）
- ・年間授業時間数やカリキュラム
- ・先生の数や経歴（学歴・職歴）… 外部講師の場合、個別指導や相談などが難しいことが考えられる。
- ・実習、研修、イベントなどの内容
- ・取れる資格と取得に向けたサポート体制
- ・学校の経営状況（少子化の影響で経営が厳しい学校もある）

② 施設・設備

- ・機材や設備の数、新しさ
- ・校舎の場所、教室の数・広さ、トイレなど基本的な施設

- ・特色がある設備・施設
- ・交通アクセス、周囲の環境

③就職指導・サポート体制

- ・就職実績（昨年度の実績・専門分野への就職率・単年度ごとの求人情報）
- ・資格試験の合格率・サポート体制
- ・中退率

④雰囲気・評判

- ・在校生、先生の雰囲気（何校か比較）
- ・普段の授業の様子（在校生に普段の様子を聞く）

⑤学費

- ・必要なお金（入学金や授業料、教材費、実習費など卒業までの総額を調べる）
- ・学費以外に必要なお金（イベント運営費、実習の材料費、研修旅行費用、検定受験料など）
- ・奨学金、特待生制度、学生寮の有無（学校独自の特待生制度や授業料の減免制度など）

⑥入学選考方法

- ・書類選考、筆記試験など
- ・AO・推薦入試の内容と時期

## （7）最後に

大学のキャンパスライフとは明らかに違います。それでも、専門学校を選択するということは、一生の仕事を決めることに繋がります。入学後にこうではなかったと退学する人も少なくはありません。また、安易に入学できる学校は、就職状況等も厳しいものがあります。自立した社会人になるという自覚を持ち、各自で十分に学校調べをすること。また遅刻、欠席をせず、日々の学校生活を充実させることが大切です。